



第5回(通算第17回)通常総会議案書

日 時 : 2009年5月23日(土)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢産業センター

総 会 次 第

1 . 開 会

2 . 理事長挨拶

3 . 来賓挨拶

4 . 議長選出

5 . 資格審査

6 . 議事審議

第 1 号議案 事業報告

第 2 号議案 決算報告および監査報告

第 3 号議案 事業計画

第 4 号議案 事業予算

7 . 閉 会

はじめに

現在の私たちを取り巻く経済社会は、昨年の欧米の金融危機を受け戦後最悪と云われています。そんな中、介護を担う人々の労働環境を整えるべきとの認識の高まりにより、少しずつではありますが改善される方向にあります。しかし必要な福祉すべてを税金で賄う事は無理であり、またそれらを自費負担で解決する事になればさらに格差社会を生み出します。

自分らしく生きるため、自分たちの福祉は自分たちで作ろうと「市民参加型福祉」を実践してその活動も18年目に入りました。活動16年目に建設した私たちの夢の結晶である、皆が一つ屋根の下で助け合って暮らす『ぐるーぷ藤一番館・藤が岡』は一年を待たず満室となりました。この間毎日新聞社の介護賞の受賞をはじめ日本経済新聞の元旦特集号に取り上げられるなど新聞、テレビ、雑誌など様々なメディアを通し全国に発信されたことにより訪問希望が殺到しています。このことは私たちの目ざしている街づくりが多くの人々の共感を呼び、市民事業が福祉の仕組みを変えられる実践事例として捉えられたこと、そして改めて私たちが進んでいる方向性は間違っていないことを確信しました。

今年も藤の原点である在宅生活を支えることを中心に置きながら、ご利用者とその家族への支援についてきめ細かいサービスを提案し、在宅でのニーズに応えていきます。

第1号議案

2008年度事業報告

1. 組織運営

設立から17年目、長年の夢である福祉マンション「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」を開設して2年目の今年度は、地元藤が岡の地にとけ込み、根づく活動ができました。地元のスタッフが大勢いることで、どんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流ができ、休日には、スタッフの子どもたちが、ボランティアとして来館するなどユニークな活動もありました。

10月には、一番館竣工一周年記念行事として、記念講演・記念パーティー・バザー・模擬店で、外部の方とともにメンバーも楽しみました。同じく10月に、一番館開設を市民事業のひとつの節目と考え、17年間の活動をまとめ、理事長が書籍「ぐるーぷ藤の挑戦 市民出資の福祉マンション」を出版しました。また毎日新聞社より、地域福祉の全国モデルとして、創意工夫と公共性に富む団体に贈られる毎日介護賞奨励賞を受賞しました。受賞の喜びを地域の皆様とともに分かち合いたいとの思いから、副賞でレストラン「オハナ」の前に藤棚を設置しました。

運営については、理事会を年4回開催し予算を始め事業運営に関する重要事項の検討を行いました。また、必要に応じて随時 代表者会議を開催、内部理事及び各事業部門の代表で構成された運営会議を月1回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の検討を行いました。月1回の運営報告会で、全会員に対して運営状況の報告を行いました。

部門ごとに会議や担当者ミーティングを随時持ち、それぞれの課題を解決し情報を共有するとともに研修の場となるよう努めました。また、部門の枠を超えた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

今年度より「藤」から独立したボランティアすみれは、従来の湘南あおぞらでの活動に加え、一番館のボランティアとして、その活動の幅を拡げています。

2. 事業活動部門

2年目を迎えた「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」では、地域の拠点としてさまざまな場面で地域に根ざした活動ができました。ご利用者のニーズや地域のニーズにお応えするために7つの事業部門の展開および総合相談センターでの活動をしてきました。中でも、福祉の駆け込み寺としての総合相談センターではさまざまな相談に対応し、緊急のサービス提供に結びついたケースもありました。レストラン「オハナ」ではランチに人気が集まり、多くの方が利用していただき、地域の交流の場として定着しました。

2 - 1 訪問介護事業（ホームヘルプ）

明るく元気に心のこもったホームヘルプでご利用者の自立支援を行いました。本来事業では、安心のための入会、介護保険・障害者自立支援では受けられない院内介助等の依頼が少しずつ増加しました。介護保険事業では、近隣からの依頼が多数あり、できる限り対応するように努めてきました。しかし2009年4月からの制度改正に向けてケアの適正化を進めてきたことと、短期で終了するケアが多かったことから、事業的にはやや厳しい状況でした。障害者自立支援事業では、児童・精神障害の方の問い合わせが多く、可能な限り新規に対応しましたが、入院、キャンセル等で安定したケアにはつながらないこともありました。障害者支援を行う事業所が少ないなかで「藤」ができるかぎり対応したことは、在宅の障害者支援を担っていく上で良い経験となりました。

また今年度は新しい試みとして、細切れのケアが多いヘルパー業務の移動時間、キャンセル等を保障することを目的に曜日ヘルパーをおきました。毎週3人から6人のヘルパーが活動しましたが、空き時間の調整等、運用が難しい面もありました。

2 - 2 通所介護事業（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

カルチャーデイ、認知症対応型デイ、サロンデイと3種類のデイを運営することによって、より細かい対応ができ、ゲスト一人ひとりを大切にした居心地のよいデイサービスの提供に努めました。

また、ぐるーぶ藤一番館にできた小規模多機能「しがらきの湯」と連携することにより、その方に合ったサービスを提供できるようになりました。

デイハウス藤の花

7年目を迎えたカルチャーデイでは、ゲストの高齢・重度化が進み、また、認知症対応型デイの症状の多様化に対応するために、質の高いサービスが求められるようになりました。ゲストのさまざまなニーズに対応できるようマニュアルの見直しや研修を行い、スタッフの質の向上に努めました。

今年度は、藤沢市の認知症対応型通所介護の現地指導がありました。その結果を改善点として施設運営に役立てました。家族懇談会では、料理作りをご家族に体験していただきながら、日頃の介護の悩み等意見交換し安らいだ一日を過ごしました。また、恒例の年末臨時入浴サービスを行い、ゲストやご家族から感謝の声をいただき、スタッフ一同感激するとともに必要性を実感しました。

デイハウス菜の花

介護予防を目的としたサロンデイ菜の花では、アクティビティとして体操・歩行訓練等の機能訓練、工作・手芸・足浴等、季節のさまざまな行事に合わせたカルチャーを行いました。ゲストの発案・企画によるアクティビティが多くなり、自分たちで創り、参加し、憩いの場となる「菜の花」らしいデイサービスを実践しました。ゲスト同士の交流も深まり、毎日和気あいあいとした雰囲気の中で一日を過ごしていただくことができました。

11月には家族会を開き、介護予防についての話や日常のデイの様子を報告しながら懇談し、皆様から満足の声をいただきました。

2 - 3 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

誰もが皆その人らしく自立して生活するためのケアプラン作成に努めました。またご利用者の変化に応じて迅速にケアプランを見直す等、きめ細かい対応をしてきました。特に第4地域包括支援センターとの連携が数多くあり、藤が岡地区の方々のケアプラン作成をするなど、福祉コーディネーターとしての役割を果たし信頼を得ることができました。ぐるーぷ藤においては、介護保険制度改正に対応するための情報の窓口として大きな役割を果たしました。

毎月行われる会議では7名のケアマネジャーが担当事例を持ちより、個々のアセスメントやプランの内容について検討しあい、活発に意見を交換しました。また研修を組み込むなど、ケアマネジメントの力量を高めるよう努めました。対応困難な事例や、緊急のケースにもできるかぎり相談に応じ、一人ひとりに丁寧なケアマネジメントを行うことを心がけてきました。

2 - 4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

「通い」を中心とし「泊まり」と「訪問」を組み合わせたなじみの関係で、住み慣れた地域での生活の継続を実現しました。登録数も常にほぼ満員の状態でしたが、他の制度を利用することが困難であったご利用者もなじみの関係をつくりあげていくことで、安心した利用ができるようになりました。

また、お祭り・ふれあい喫茶等地元自治会活動への参加、中学校の総合学習への協力、幼児教室どんぐり園・学童保育チンチロ・コロリンとの交流や地域のボランティア等の支援で日々の活動が大変充実しました。自治会長・地域包括支援センター・民生委員・ご家族の方々と共に開催する運営推進会議では、地域密着ならではの有意義な話し合いを持つことができました。

地域密着型サービスに義務づけられている外部評価および藤沢市による実地指導では高い評価をいただきました。

2 - 5 精神障害者グループホーム（藤が岡の家）

複合施設の中にあるグループホームというこれまでに無い形の施設として、専任のスタッフだけでなく、施設内の他の部門のスタッフや看護師、入居している高齢者の方々の見守りのなかでの暮らしが定着してきました。年度途中で満室となりましたが、全国各地からのお問い合わせや見学者が多数ありました。6名の入居者は、地元コンフォール自治会のお祭りや、しがらきの湯で行われるコンサートに参加したり、月に1回の外食やしがらきの湯を利用して食事会を行うなど、複合施設ならではの生活を楽しみながら、積極的に社会との接点を作ってきました。

藤が岡の家開所から2年目となり、メンバーの目標は住まいに慣れることから、一人ひとりに合った社会参加・就労と自立を探る方向へと少しずつ進んでいます。

2 - 6 高齢者住宅（一番館）

開所から1年を待たず2008年9月には21室が全て満室になりました。

お住まいの方にその方らしく暮らしていただくために、スタッフは「おもてなしの心」を大切に、3つの環境づくりに努めました。

「安心できる環境づくり」

外部や内部のケアマネジャーのプラン作成によるデイサービスやホームヘルプ等の介護保険サービスの利用を支援しました。また、看護師と主治医との連携を充実させ、身体面、精神面からの安心できる環境づくりに努めました。

「笑顔のある環境づくり」

お住まいの方が、3階・4階のそれぞれのリビングで集うきっかけとして、料理レクを取り入れ、一緒にカレーや餃子を作りました。また、寒い時期には鍋を囲んだり、笑顔のある環境づくりに努めました。

「楽しみのある環境づくり」

介護が必要な方には一番館サービスを取り入れるなどして、ご自由な外出を支援しました。春・秋には遠足を企画し、外食をするなど楽しみのある環境づくりに努めました。

運営懇談会やご家族の訪問時などには、お住まいの方々の様子を報告するとともに、ご本人やご家族の要望をお聞きするなど、コミュニケーションを図るよう努めました。

2 - 7 厨房およびレストラン（オハナ）

厨房では、一番館にお住まいの方々、しがらきの湯を利用されている方々の体調を考慮した食事の提供に努めました。30代から90代、普通食から介護食、質・量・調理法等それぞれ異なった食事形態に対応してきました。

レストラン「オハナ」では、ご家族やご近所の方の要望もあり、7月より日曜日も営業するようになりました。日替わりのランチは大変好評で、リピーターのお客が多く来てくださるようになり、地域の交流の場ともなりました。特にテレビ放映後は遠方から来てくださるお客様も増えています。

10月に弁当・惣菜の営業許可をとり、一般のお客様や「しがらきの湯」ご利用者からの予約注文もいただくようになりました。

2 - 8 総合相談センター

地域福祉の核となり、地域の駆け込み寺としてあらゆる相談に対応できるよう設置した総合相談センターでは、看護師・社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャーを中心に地域のさまざまな相談に応じました。お話を聞くだけで安心される場合も多いなかで、地元の独居の方について民生委員と連携をとったケース、包括支援センターと共に対応したケース、緊急のサービス提供や施設での対応を行ったケース、権利擁護など弁護士につないだケース等きめ細かく対応しました。地域に寄り添った相談窓口としての役割の重要性を実感しました。

また12月より予約制で顧問税理士による無料税務相談を始めました。

3. 管理部門

ぐるーぷ藤総体の事務局として管理運営に責任を持ち、今までの体制に加え新しいスタッフを迎え、相互に協力しながら日々の事務処理を行いました。部門が増加したことで業務内容が複雑化し、また、施設を持ったことで従来なかったメンテナンス・物品管理・朝夕の施設消毒等の新たな業務も加わり、多くの課題に取り組んできました。秋には全館をあげて防災訓練を実施し、一番館災害時「駆けつけ」マップを作成しました。

請求業務の効率化および多様化した業務に対応するため、ぐるーぷ藤専用のサービス管理ソフトを開発し、テスト稼働を始めました。

3 - 1 会員と福利厚生

今年度も募集をしない中でメンバーの紹介により、福祉のまちづくりという理念に賛同する仲間が21名増え現在会員は154名になりました。一人ひとりの活動時間が増えたことにより、社会保険および雇用保険加入者も大幅に増加しました。念願だった賞与は期末を含め年3回支給することができました。

また、会員の福利厚生としてオハナでの食事代を補助し、スタッフの利用も増えています。恒例の交流会は、夏には横浜港ナイトクルーズ、冬には2班に分けて一泊で館山バスツアーを行い大いに楽しみました。一番館で行った新年会は、厨房手作りのお料理を満喫し、ゲームなどで会員の交流を深めました。

福祉関連有資格者（2009年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：3名	2級：101名
介護福祉士	37名	
看護師	5名	
ケアマネジャー	9名	
身体障害者ガイドヘルパー		31名
福祉住環境コーディネーター2級	1名	
認知症ケア専門士	3名	
学習療法士1級	1名	
社会福祉士	4名	
社会福祉主事	2名	
栄養士	3名	
調理師	7名	
理・美容師	3名	

3 - 2 広報活動

新規事業が増えたのを機に、カラーパンフレットを作成しました。年4回発行している広報誌「花どけい」は下半期より念願のカラー化を実現し、毎号1000部を地域に配布しています。ホームページはアクセスしやすく、

見やすいサイトをめざして外部委託し6月に全面リニューアルしました。課題だったホームページの更新には専任の担当者を置くことができました。テレビ放映後は、全国各地からのアクセスが増えています。

一番館開所を市民事業の一つの到達点としてまとめた書籍「市民出資の福祉マンション」は、全国から購入希望が相次いでいます。「藤」を理解していただくツールが充実しました。なお、パンフレットのデザインおよび書籍の装丁は、アートディレクターの水野学さんにご協力いただきました。

3 - 3 諸団体での役割

- ・ 藤沢市高齢者施策検討委員会 副委員長
- ・ 藤沢市保健福祉計画策定委員会 副委員長
- ・ 藤沢市地域活動計画進行管理委員会 委員
- ・ かながわ協働推進会議 委員

4 . 評価プロジェクト

第2次3年計画の初年度として新たなメンバーを加えた8名の委員が、年間9回の会議を通じて、ぐるーぷ藤独自の評価システムの構築をめざしました。

多部門の事業が開設され、ヘルパー・スタッフ・事務職・調理スタッフ・役員等5種の自己評価DBU(Dialogue for Brush-Up)に加え、新たに看護師・ケアマネジャーの自己評価シートも作成しました。またスタッフシートを一部変更し、各部門の業務に合うように改良をすすめ、さまざまな職種・業務に対応できるシートがほぼ完成しました。

今年度は事務職の業務内容調査を行い、業務の難易度を手当ベースに反映させて、能力評価を盛り込んだ時給設定を行いました。そのことで事務職の業務内容がはっきりし、一人ひとりが自己目標を設定しやすくなり、評価項目を充実させることができました。

2008年度は、前年度評価を夏季・冬季の賞与に反映させることができました。互いに頑張りを認め合い、目標をもって業務に取り組むことを目的に、121名がDBUおよび面談を行いました。

5 . 研修プロジェクト

ぐるーぷ藤の理念の共有と介護力の向上をめざし、今年度もさまざまな研修を行いました。運営報告会を利用して会員全体に向けスキルアップを目的とした研修を行い、各部門会議においては、現場に直接かかわる身近な研修を毎月実施しました。また、外部の講師を招いて「介護」「接遇」などのテーマで全体研修を行い、多くの会員の自己研鑽の場になりました。鈴木デンタルクリニック鈴木聡行医師による公開医療講座「誤嚥性肺炎予防と口腔ケア」には、地域の方々の参加もありました。その他、外部の研修にも積極的に参加しました。

トップリーダー研修のひとつとしての海外研修は、服部万里子先生主催のサンフランシスコ「高齢者ケアとホスピスケア」に2名参加しました。

6．代表者報酬検討委員会

代表者の報酬を会員が討議することを目的として、当委員会が設置されました。各部門から広くメンバーを集め、7回の委員会を開催し検討を重ねました。

ぐるーぷ藤一番館を開所したことにより、代表者には24時間365日の対応が求められ、その責任は以前に比べ増大しました。そして、事業の拡大に伴う人材の確保や育成にも労力を要しました。その点を考慮し更に現在の会員の報酬とのバランス等も勘案し、結論を出しました。

代表者それぞれの仕事が多岐に渡っているため、一律の報酬は現状にそぐわないということを見意としてまとめました。また、付帯意見として、会員の健康と生活維持及び安心して働ける職場を実現するために、就業規則の整備等及び人材の確保・育成を明記しました。

7．ぐるーぷ藤一番館・藤が岡一周年記念

お世話になった関係者及び地域の皆様に感謝をこめて、10月25日に一周年記念行事を行いました。一番館のカラーコーディネートを担当してくださった木村千尋先生を講師にお迎えし、会員向けに記念講演「おもてなしの心」を開催しました。その後レストラン「オハナ」で関係者をお招きして記念パーティを行い、数年ぶりに同時開催したバザーや模擬店では、地域の方々とともにメンバーも大いに楽しみました。なお、売り上げの一部は交流会や新年会等スタッフの元気の素に使わせていただきました。一周年記念として、書籍「市民出資の福祉マンション」を参加者及び会員に配布しました。

8．その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、地域の諸団体及びボランティアすみれと連携しながら、地域に根ざしたさまざまな活動を行いました。

今年度は、テレビ(テレビ東京・TBS・テレビ朝日)・ラジオ・雑誌等メディアの取材が多数ありました。特にテレビ放映後の反響は予想を超えるほど大きく、資料請求・書籍購入・見学希望のメール・電話が集中し事務局全員で対応しました。見学希望に対しては、お住まいの方のプライバシー保護も考慮し、月1回に制限させていただいた結果、1年先まで予約が入っています。

講師

- ・ 神奈川県委託訓練「福祉系NPO起業・ヘルパー養成科」
- ・ 社会福祉法人マロニエ会主催 2級ヘルパー研修
- ・ シニアライフ情報センター主催「ケアハウス事業者セミナー」
- ・ 湘南高齢期ネットワーク主催「高齢者問題を考えるシンポジウム」

取材、見学、テレビ放映、新聞掲載、雑誌掲載

- ・ 取材：11件
- ・ 見学：33件、125名
- ・ テレビ放映 テレビ東京 [ワールドビジネスサテライト] 1/28
TBS [みのもんたのサタデイズぱっと] 2/14
テレビ朝日「スーパー」チャンネル」3/13
- ・ 新聞掲載 「シルバー新報」, 「土と人間」, 「毎日新聞」, 「日本経済新聞」, 「タウンニュース」, 「シルバー産業新聞」, 「高齢者住宅新聞」
- ・ 雑誌掲載 「月間介護保険」, 「うてるびー」, 「日経マネー」, 「達人ケアマネ」, 「厚生福祉」, 「のんびる」, 「ゆいま～る」, 「おはよう21」

2008 年度 全体研修・部門別研修

		日 時	名 称
全体 研 修		通年	新入会研修
		4月11日	「感染症及び食中毒の予防・感染症及び食中毒のまん延の防止」
		7月11日	事例ケアカンファレンス研修「認知症及び認知症ケア」
		7月26日	「高齢者の脱水と対処方法」
		8月9日	「利用者のプライバシー保護の取り組み」
		9月24日	消防訓練
		10月11日	「身体拘束等の排除のための取り組み」
		10月25日	木村千尋先生講演「おもてなしの心」
		12月13日	「倫理規定及び法令遵守に関する研修」「高齢者体験研修」
		12月20日	第16回竹内先生介護講座「ボディメカニクス基本のき」
		1月18日	医療講座「高齢社会における誤嚥性肺炎予防と口腔ケア」 「確実に汚れを落とす歯磨きテクニック」
		2月14日	「事故発生又はその再発防止」「リスクマネジメントについて」
		2月19日,24日,27日	介護福祉士国家試験実技対策講座
		3月7日	介護研修「笑える中田介護塾」
リ ー ダ ー 研 修		6月11日	雇用管理責任者講習
		9月14日～20日	サンフランシスコ研修「高齢者ケアとホスピスケア研修」
		9月26日	NPO 渋谷主催「認知症ケアについて」
		10月28日	NPO 渋谷主催「倫理及び法令順守に関する研修」
		11月14日	NPO 渋谷主催「虐待予防のためのケアマネジメント」
		12月12日	NPO 渋谷主催「報酬改定及び認知症ケア」
		1月27日	NPO 渋谷主催「報酬改訂研修」
		2月7日	市民協主催「トップマネジメント研修」
部 門 別 研 修	ホ ー ム ヘル プ	5月30日	介護保険指定事業者等集団指導講習会
		8月7日～9月19日	県社協主催「サービス提供責任者研修」
		9月18日	保健所主催ケース会議「うつ病」
		11月29日	神奈川県介護支援専門員協会主催 「サービス事業所の皆さんとケアプランと作成してみませんか」
		2月4日	障害者自立支援協議会主催「制度の理解とその活用」
		2月25日	精神障害者居宅介護支援研修
		3月10日,12日	ホームヘルプ新人研修
		デ ィ ハ ス 藤 の 花 菜 の 花	4月12日
	5月10日		事故発生等緊急時の対応及び緊急時の連絡体制
	6月14日		食事介助・事故事例・ヒヤリハット事例等の事故防止につながる事例検討
	6月27日		指定地域密着型サービス事業集団指導会
	7月12日		入浴介助・事故事例・ヒヤリハット事例等の事故防止につながる事例検討
	8月9日		介護予防についての理解
	8月27日		認知症介護実践者研修
	9月13日		緊急・災害時対応マニュアルについて
	10月11日		レクリエーションの取り組み方について
	11月4日		ノロウイルス等感染症研修
	11月8日		ノロウイルス感染予防と嘔吐物処理手順について
	11月13日		神奈川県第二回認知症介護基礎講座
	11月26日	老人介護施設のリスクマネジメント	

部門別研修	デイムフス藤の花菜の花	11月27日	そのケアプランは本当に必要ですか
		12月13日	高齢者疑似体験
		1月10日	ケアマニュアルの検討と見直しについて
		2月14日	口腔ケア・事故事例と事故防止について
		2月18日	認知症の「人」と介護するうえで大切な事
		2月26日	食品衛生講習会
		3月14日	歩行・移動介助の事故事例と事故防止について
		3月31日	新人スタッフ研修
	ケアマネジメント	5/30,10/27,11/17,11/27,2/6	藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会主催研修 「高齢者の心理への援助について」他
		6/28,9/26,11/29,11/31	神奈川県介護支援専門員協会主催研修「認知症ケアプラン研修」他
		8月2日	藤沢市介護保険課主催 「ICFの視点に基づく認知症のケアの専門性とケアプラン作成」
		8月25日	湘南なぎさ診療所主催医療研修「床ずれ予防シート」
		12月13日	読売新聞主催「大人の脳トレーニング」
		2月26日	精神障害者居宅介護支援研修
		1/26,1/27,1/28,1/29	認定調査員研修
	看護師	10月15日	脱水・経口補水療法
		11月22日	神奈川県看護協会湘南支部研修会「認知症」
		11月26日	肺炎予防
		2月18日	高血圧治療
		2月26日	摂食・嚥下障害の診断とリハビリテーション
	しがらきの湯・番館	6月14日	業務研修
		7月11日	認知症及び認知症ケア
		8月9日	トランス、水分補給、清拭について
		9月13日	ゲストの詳細について
		10月11日	食事介助について
		11月8日	ノロ対応、対策実地研修「家族対応、緊急対応連絡方法について」
		12月13日	「ケアに対するQ&A」「倫理規定及び法令順守」「高齢者体験研修」
		1月10日	トランス研修 「リクライニング車椅子について」「トランスボードの使い方について」
		2月14日	リスクマネジメントについて
		3月14日	無添加石鹸の使い方
	藤が岡の家	5月24日～7月19日	藤沢市精神保健ボランティア講座全5回
		7/10,9/18,11/20,2/19	藤沢市保健所ケース会議全4回
		8月4日,5日	H20年度「サービス管理責任者補足研修」
		8月30日	NPO法人昴の会連続講演会「こころ元気ですか」
		9月25日	自立支援協議会主催「グループホーム世話人研修」
		11月3日	NPO法人昴の会連続講演会「過去への手紙」
		11/18,12/2,12/3	H20年度「サービス管理責任者研修」
		12月17日	ハウスたんぼぼ、ウィズ見学
	厨房	1月22日,2月5日	「在宅高齢者のための食支援研修会」
		2月26日	「食品衛生講習会」
	事務局	11月19日	「甲種防火管理者講習」
		2月3日	NPO会計研修

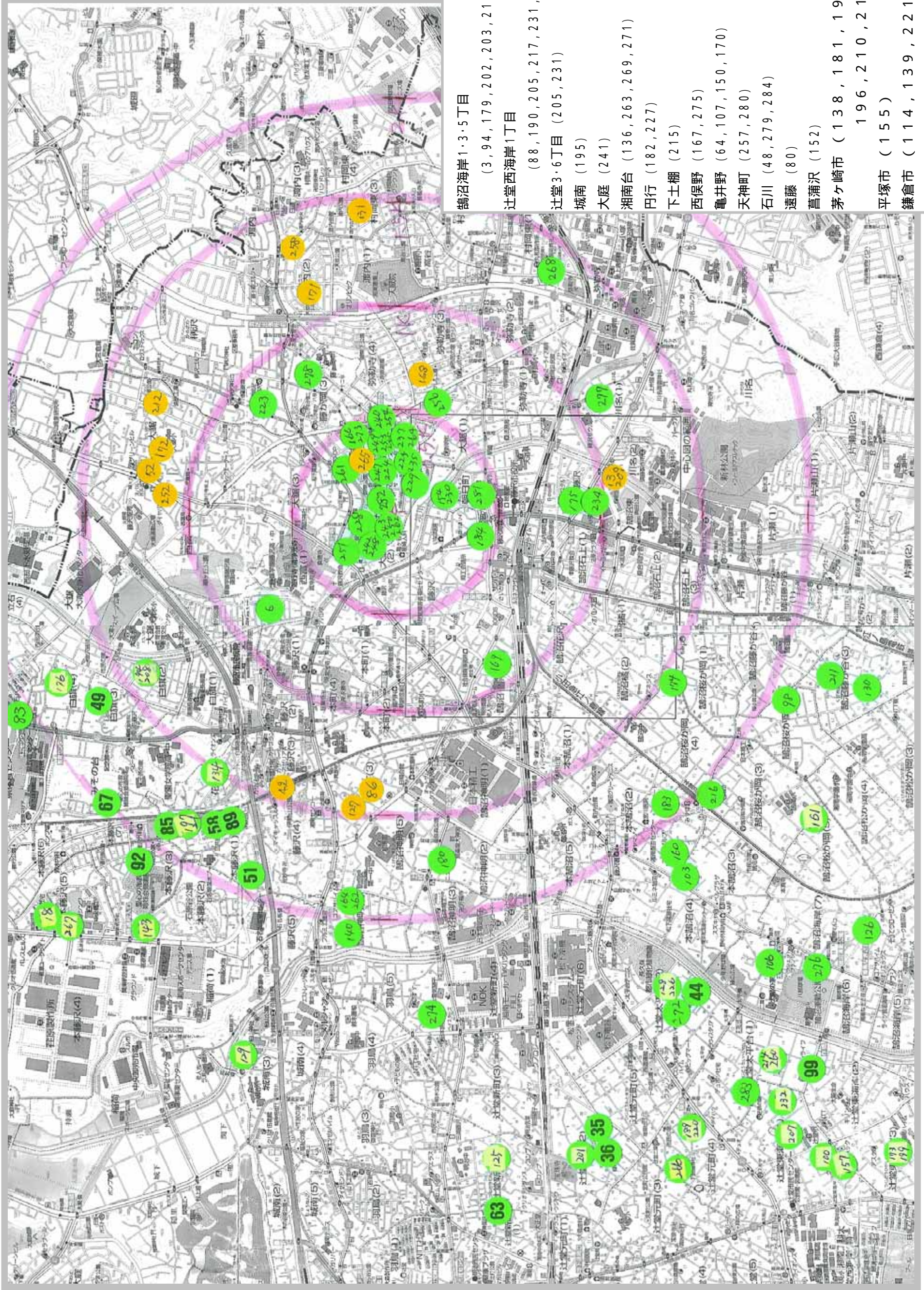
年間活動一覧

2008年4月～2009年3月

月	日	内部活動	日	外部研修・学習	日	外部活動
4月	1	しがらき・一番館ミーティング	20	高次脳機能障害家族会	6	みどりの園鶴沼開所式
	2	臨時運営会議			8	クローバーガーデン開所式
	3	一番館・夜桜見物			14	ふじさわNPO連絡会
	4	代表者会議、ケアマネ会議			15	藤沢市福祉施策検討委員会
	6	ボランティアすみれ・湘南あおぞら活動			17	小規模多機能型居宅介護連絡会
	7	ケアミーティング			18	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	9	第12回運営会議			20	鎌倉愛の郷開所式
	12	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議			21	シニアヴィラ大庭・なごや家見学
	14	税理士打合せ			25	チャリティプラットホーム説明会
	17	なな舎出版打合せ			28	藤沢市保健福祉計画策定委員会
	18	期末監査			30	障害者地域自立支援・居宅支援サブ協議会
	22	デイミーティング(30)、藤の花・菜の花防災訓練(25)				
	26	藤が岡の家月例食事会				
	29	第4回(通算第16回)通常総会 取材：日本経済新聞社浅川編集委員 見学：かすみの会、UR福祉部長他				
5月	1	ケアマネ会議	13	～6/27 認知症介護実践研修	1	藤沢市地域活動計画進行管理小委員会
	1	藤が岡の家スタッフ会議	22	藤沢病院主催「統合失調症と薬物療法の実際」	15	ふじさわNPO連絡会役員会
	2	代表者会議、しがらきの湯とどんぐり園交流	24	～7/19 藤沢市保健ボランティア講座	16	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	5	ケアミーティング	30	事業所連絡会主催 「仕事が3倍楽しくなるコミュニケーション法」	28	障害者地域自立支援・居宅支援サブ協議会
	7	第1回運営会議	30	介護保険指定事業者集団指導講習会	30	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	10	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議			30	かながわ協働推進会議
	11	しがらきの湯運営推進会議			31	マロニエ会2級ヘルパー研修講師
	15	男声合唱ゴールデンノーツ演奏会				
	19	税理士打合せ・評価プロジェクト				
	22	花どけい50号編集委員会(29)				
	24	藤が岡の家月例食事会				
	26	しがらき・一番館ミーティング				
	27	パンフレット打合せ、デイミーティング				
	29	花どけい50号編集委員会 取材：堀込様 見学：岳野様、藤沢市介護保険課				
6月	1	ボランティアすみれ湘南あおぞら活動	11	雇用管理責任者講習	3	「シニアのためのNPOインターンシップinかながわ」打合せ
	2	研修プロジェクト	18	デンマーク研修「デンマーク高齢者福祉、看護、介護セミナー」	5	藤沢市 地域活動計画進行管理小委員会
	4	藤が岡の家スタッフ会議、ケアミーティング	21	小規模多機能型居宅介護シンポジウム	7	CoCoみちるベ竣工式
	5	ケアマネ会議	27	地域密着型集団指導講習会	14	コンフォール藤沢ふるさとまつり実行委員会
	6	代表者会議	28	介護支援専門員協会主催「認知症ケアプラン研修」	20	居宅介護支援事業所連絡協議会幹事会
	11	第2回運営会議			藤沢市地域活動計画進行管理小委員会	
	12	花どけい50号編集委員会			23	藤沢市保健福祉計画策定委員会
	14	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議・事務局ミーティング			25	障害者地域自立支援サブ協議会
	19	税理士打合せ・評価プロジェクト			27	かながわ協働推進会議
	21	ボランティアすみれ会議・藤が岡の家月例食事会			29	コンフォール藤沢自治会防災訓練
	23	第1回理事会、花どけい50号発行				
	24	デイリーダー会				
	26	第1回代表者報酬検討委員会				
	27	デイミーティング				
	30	しがらき・一番館ミーティング 見学：今様、富山ナラティブホーム様				
7月	2	藤が岡の家スタッフ会議	10	保健所ケース会議	3	地域ケア会議
	4	代表者会議	15	「認知症の理解とケア」	10	高齢者問題のボジウム「地域で安心して老後を送るために」講師
	7	ケアミーティング、ケアマネ会議、	24	「思春期の精神保健」	16	ケアマネジメントを考える準備会(17)
	9	第3回運営会議	26	保健福祉講座「高齢者の脱水と対処方法」	18	NPOインターンシップ・プログラムinかながわ
	12	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議・事務局ミーティング			23	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	第1回交流会「横浜港ナイトクルーズ」				28	藤沢市地域活動計画進行管理小委員会
	16	評価プロジェクト・第2回代表者報酬検討委員会			29	精神障害者地域生活支援連絡会準備会
	17	花どけい51号編集委員会			30	障害者地域自立支援サブ協議会
	19	藤が岡の家月例食事会				
	22	税理士打合せ・デイリーダー会				
	24	東部地区民生委員話し合い				
	25	デイミーティング				
	28	しがらき・一番館ミーティング、第1回身体的拘束廃止委員会				
	30	藤が岡の家スタッフ会議				
	31	ケアミーティング 取材：日経マネー 見学：子の福祉社、六会地区民生委員、UR都市機構本社				
8月	1	ケアマネ会議	2	藤沢市介護保険課主催 「ICFの視点に基づく認知症ケアの専門性・ケアプラン作成研修」	3	コンフォール藤沢自治会ふるさと祭り実行委員会
	4	代表者会議	4	平成20年度「サービス管理責任者補足研修」	4	かながわ協働推進会議
	6	第4回運営会議	5	平成20年度「サービス管理責任者補足研修」	12	藤沢市保健福祉計画策定委員会
	7	書籍出版について七七舎と打合せ(14)	7	～9/19 サービス提供責任者育成研修	22	藤沢市 地域活動計画進行管理委員会小委員会
	9	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議	25	湘南なぎさ診療所主催「床ずれ予防シート」	23	コンフォール藤沢自治会ふるさと祭り
	16	藤が岡の家月例食事会	27	認知症介護実践者研修	26	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	20	第3回代表者報酬検討委員会、評価プロジェクト	30	昂の会主催「こころ、お元気ですか？」	27	障害者地域自立支援サブ協議会
	21	交流会企画委員会・湘南シニアネットとホームページ打合せ			28	ケアマネリーダー会議
	21	花どけい51号編集委員会(28)				
	25	しがらき・一番館ミーティング				
	26	税理士打合せ、デイリーダー会				
	28	一番館竣工一周年記念実行委員会				
	29	デイミーティング				
9月	1	ケアマネ会議、防災訓練(藤の花通所)	14	～20サンフランシスコ研修「高齢者ケアとホスピスケア研修」	8	神奈川県小規模連絡会総会
	2	防災訓練(藤の花認知)	18	保健所主催「うつ病とその対応」	24	障害者自立支援サブ協議会
	3	藤が岡の家スタッフ会議、しがらきの湯運営推進会議	24	「摂食困難な人に対する食事の作り方・食べさせ方」	27	居宅介護支援連絡協議会幹事会
	4	代表者会議	25	自立支援協議会主催「グループホーム世話人研修」		
	5	しがらきの湯外部評価、防災訓練(菜の花)	26	介護支援専門員ファシリテーター養成研修		
	10	第5回運営会議	26	NPO渋谷主催「認知症ケアについて」		
	13	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議	30	県主催「高齢者の権利擁護に関する研修」		
	16	ソフトについてシステムクラフトと打合せ				
	17	第4回代表者報酬検討委員会				
	23	デイリーダー会				
	24	防災訓練(一番館)				
	27	デイ大掃除、デイミーティング				
	29	第2回理事会、ケアマネ会議、防災訓練(藤の花通所)				
	30	しがらき・一番館ミーティング、花どけい51号発行 見学：エニータム、NPO暮らしとお金の学校、登立様、藤沢市副市長				

月	日	内部活動	日	外部研修・学習	日	外部活動
10月	1	藤が岡の家スタッフ会議	15	湘南なぎさ診療所主催「経口補水療法」	7	神奈川県委託訓練「福祉系NPO起業・ヘルパー養成科」講師
	2	一番館竣工一周年記念実行委員会	27	ケアマネ連絡協議会主催「川崎方式研修」	19	369あおぞら祭り
	3	代表者会議(31)	28	NPO渋谷主催「倫理及び法令遵守に関する研修」	22	障害者自立支援サブ協議会
	6	ケアミーティング			27	藤沢市保健福祉計画策定委員会
	7	男声合唱「ゴールデンノーツ」鑑賞会				
	8	第6回運営会議				
	10	パンフレット打合せ				
	11	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議				
	14	門倉組12ヶ月点検				
	15	第5回代表者報酬検討委員会				
	16	デイハウス藤の花(認知)実地指導				
	18	藤が岡の家月例食事会				
	22	評価プロジェクト、花どけい52号編集委員会				
	23	税理士打合せ				
	25	一番館竣工一周年記念講演・パーティ・バザー・模擬店				
	27	デイミーティング、厨房話し合い				
	29	しがらき・一番館ミーティング、藤が岡の家スタッフ会議				
	30	ケアマネ会議、村岡中学校交流会 見学：藤沢市福祉部長、町田ワーカーズ・コレクティブ				
11月	3	ケアミーティング	3	NPO法人昂の会連続講演会「過去への手紙」	9	藤沢東部地区総合防災訓練
	5	第7回運営会議	4	保健所主催「ノロウイルス感染症」	13	小規模多機能型居宅介護事業所連絡会
	6	毎日介護賞授賞式	12	湘南なぎさ診療所主催「床ずれを防ぐための食事の留意点」	18	藤沢市高齢者施策検討委員会
	8	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議	13	県 認知症介護基本講座	22	藤沢育成会30周年(ボランティアすみれに感謝状)
	18	総務・経理会議	14	NPO渋谷主催「虐待予防のためのケアマネジメント」	26	障害者自立支援サブ協議会
	19	第6回代表者報酬検討委員会・研修プロジェクト	17	ケアマネAブロック学習会	26	第2回高齢者シンポジウム：講師
	22	藤が岡の家月例食事会	18	県 サービス管理責任者研修	27	「福祉系NPO起業・ヘルパー養成科」講師
	25	デイリーダー会	19	甲種防火管理者講習(20)		
	26	税理士打合せ	22	看護協会湘南支部研修会「認知症」		
	26	交流会企画委員会	20	保健所ケース会議		
	28	デイミーティング	26	「老人施設のリスクマネジメント」		
	29	藤の花・菜の花家族会	26	藤沢医師会主催：「がんを考える」		
		取材：日本経済新聞	26	湘南なぎさ診療所主催：「肺炎予防」		
		見学：秋山様他、渋谷区役所	27	事業所合同主催：「そのケアプランは本当に必要？」		
			29	県支援員協会主催：「サービス事業所の皆さんと一緒にケアプランを作成してみませんか」		
12月	1	しがらき・一番館ミーティング	2	県 サービス管理責任者研修	9	地域生活支援連絡会体験入居部会
	3	第7回代表者報酬検討委員会	12	県 サービス管理責任者研修	13	KBS京都ラジオ「早川一光のばんざい人間」電話出演
	4	ケアマネ会議	12	NPO渋谷主催「報酬改定及び認知症ケア」	16	かながわ協働推進会議
	5	代表者会議	13	読売新聞社主催「大人の脳トレニング」	18	社協 地域計画進行管理委員会
	8	ケアミーティング、看護師ミーティング	17	ハウスたんぼぼ、ウィズ見学	19	どんぐり園ミニミニコンサート
	10	第8回運営会議			20	防災訓練(藤沢小学校)
	13	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議			22	藤沢市保健福祉計画策定委員会
	14	どんぐり園交流				
	15	第3回理事会、花どけいNo.52発行				
	17	評価プロジェクト				
	19	しがらきの湯 運営推進会議				
	23	藤が岡の家 すき焼き忘年会・クリスマス会、デイリーダー会				
	25	税理士打合せ、ハーモニカでクリスマス会				
	26	デイミーティング				
	30	藤の花 入浴デイ 取材：日本経済新聞、三菱UFJ 見学：NPO法人すこやか文化交流会、社福むべの里				
1月	4	代表者会議(14)	21	事業所連絡会主催「ノロウイルス緊急研修会」	6	障害者地域生活支援連絡会
	5	ケアミーティング、ケアマネ会議	21	介護予防支援従事者研修	8	南部地区地域ケア会議
	7	第9回運営会議	22	「アルコール依存症の治療と対応」	9	障害者地域生活支援連絡会
	10	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議	22	「在宅高齢者のための食支援研修会」	11	コンフォール藤沢自治会新春のつどい
	15	介護サービス情報の公表調査(20・22)	26	～29認定調査研修	15	かながわ協働推進会議
	16	藤が岡の家月例食事会	27	NPO渋谷主催「報酬改訂研修」	17	あべともこ新春のつどい
	18	新年会			22	ケアマネ事業所新年会
	21	花どけい編集委員会			28	障害者地域自立支援協議会・居宅支援サブ協議会
	22	税理士打合せ			29	小規模多機能型居宅介護事業所連絡会
	24	一番館 初詣(伏見稲荷)27(寒川神社)				
	26	しがらき・一番館ミーティング				
	27	新春コンサート、デイリーダー会				
	28	藤が岡の家スタッフ会議、評価プロジェクト				
	30	デイミーティング				
	31	菜の花大掃除及びスタッフ会議 取材：テレビ東京(放映：1/28「ワールドビジネスサテライト」) 見学：福祉クラブ生協、藤沢市議会民生常任委員会				
2月	2	ケアマネ会議、しがらき・一番館ミーティング	3	NPO会計研修	2	地域生活支援連絡会体験入居部会
	4	一番館消防計画申請手続	4	「障害者・児ヘルパーサービス課題解決研修」	4	障害者自立支援協議会
	6	代表者会議	5	「在宅高齢者のための食支援研修会」	12	地域生活支援連絡会
	9	ケアミーティング	6	「ケアマネ業務に生かすコミュニケーション術」	24	シブライ情報センター主催「第6回ケアハウス事業者セミナー」講師
	11	第10回運営会議	7	市民協主催「トップマネジメント研修」	28	ラポール三ツ沢開所式
	14	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議、事務局会議	8	市民協主催「トップマネジメント研修」	28	障害者地域自立支援協議会・居宅支援サブ協議会
	16	花どけい編集委員会(25)	9	NPO会計研修		
	18	厨房会議	18	認知症介護基本講座		
	19	システムクラフト打合せ、藤が岡の家月例食事会	18	湘南なぎさ診療所主催「高血圧治療ー最新の知見」		
	20	税理士打合せ、門倉組打合せ	19	保健所ケース会議		
	21	交流会「房総半島へお花摘みと銚子漁港の1泊2日の旅」	24	シブライ情報センター主催「第6回ケアハウス事業者セミナー」		
	24	デイリーダー会	25	精神障害者居宅介護支援研修		
	25	藤が岡の家スタッフ会議、評価プロジェクト	26	クローバー主催「摂食・嚥下障害の診断とリハビリテーション」		
	27	デイミーティング	26	藤沢市主催「精神障害者居宅支援研修会」		
	28	交流会「房総半島へお花摘みと銚子漁港の1泊2日の旅」 取材：TBS(放映：2/14「みのもんたのサタデイズぱっと」)、中央法規出版「おはよう21」 見学：秦野市役所、菅原様、NPO法人たすけあい名古屋、シブライ情報センター	26	食品衛生講習会		
3月	2	しがらき・一番館ミーティング	5	清水坂あじさい荘視察	18	障害者地域自立支援協議会・居宅支援サブ協議会
	4	研修プロジェクト	11	湘南なぎさ診療所主催「高血圧と喫煙は危ない？」	28	映画とトーク「私の葬送日記」高専見学
	5	ケアマネ会議	19	「認定調査の方法と介護報酬」		
	6	代表者会議	24	藤沢市主催「介護報酬等の制度改正説明会」		
	7	門倉組打合せ(23・31)	28	心で聴く傾聴講座&ワークショップ		
	9	ケアミーティング、厨房会議、	29	心で聴く傾聴講座&ワークショップ		
	11	第11回運営会議				
	14	運営報告会・デスタッフ会議・ヘルパー会議				
	15	一番館運営懇談会				
	18	しがらきの湯運営推進会議				
	19	臨時代表者会議(27)				
	21	藤が岡の家月例食事会				
	23	第4回理事会、花どけい53号発行				
	24	税理士打合せ				
	30	デイミーティング、しがらき・一番館ミーティング				
	31	藤沢市消防署・関係部署による防災設備実態調査 取材：テレビ朝日(放映：3/13「スーパー」チャンネル)、FMレディオ湘南、コミュニケーションネットワーク「ゆいまーる」 見学：並木様、高橋様				

災害時「駆けつけ」マップ
(会員番号にて表示)



鶴沼海岸1・3・5丁目

(3, 94, 179, 202, 203, 213)

辻堂西海岸1丁目

(88, 190, 205, 217, 231, 259)

辻堂3・6丁目 (205, 231)

城南 (195)

大庭 (241)

湘南台 (136, 263, 269, 271)

円行 (182, 227)

下土棚 (215)

西俣野 (167, 275)

亀井野 (64, 107, 150, 170)

天神町 (257, 280)

石川 (48, 279, 284)

遠藤 (80)

真浦沢 (152)

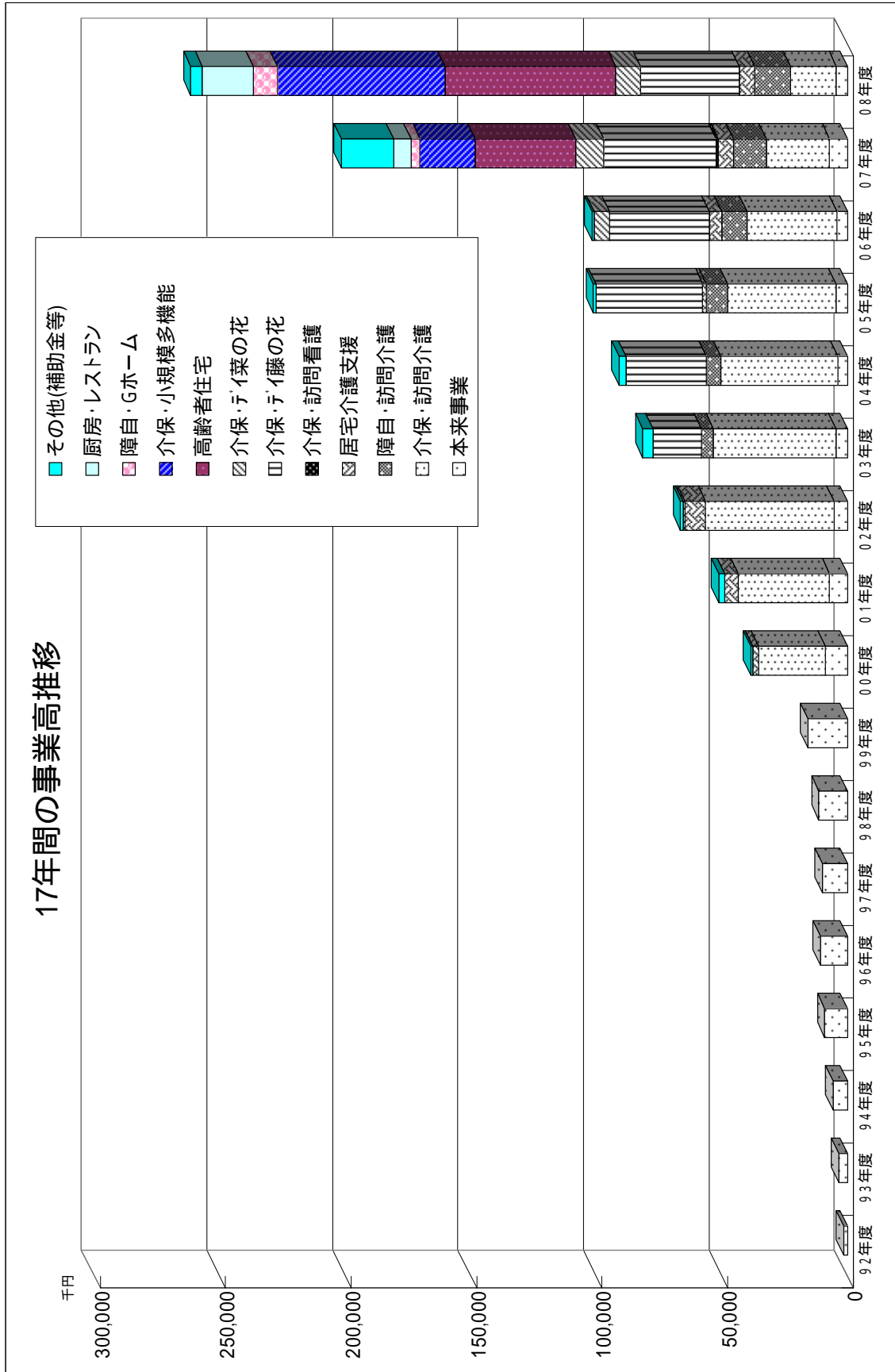
茅ヶ崎市 (138, 181, 192, 193, 196, 210, 218, 245)

平塚市 (155)

鎌倉市 (114, 139, 221)

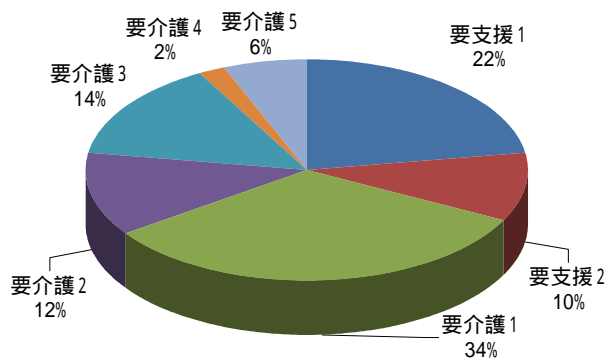
相模原市 (210)

17年間の事業高推移

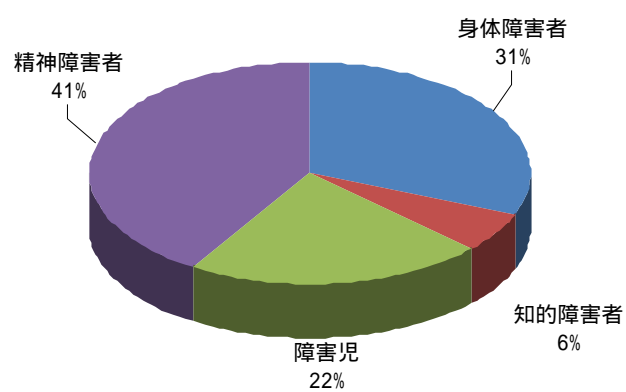


ご利用者 介護度 分布 (2009年3月)

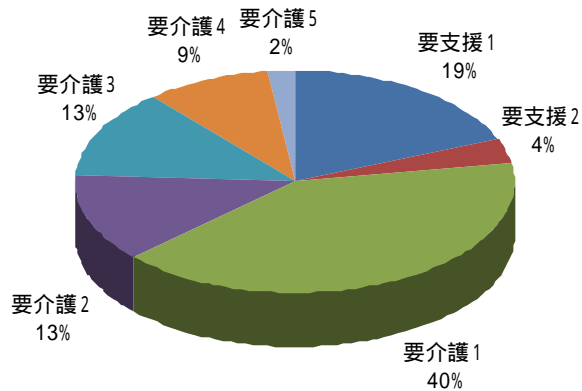
訪問介護(介護保険)



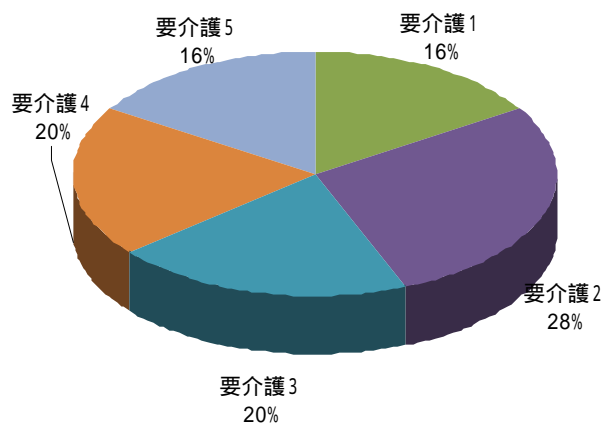
訪問介護(障害者自立支援)



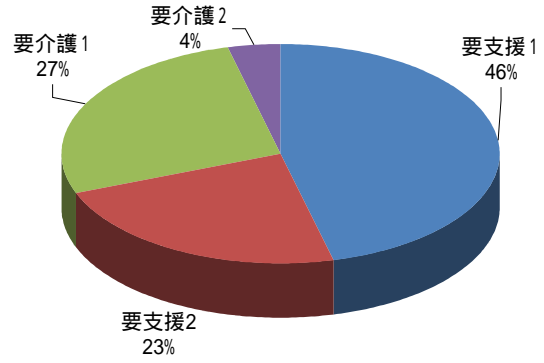
居宅介護支援



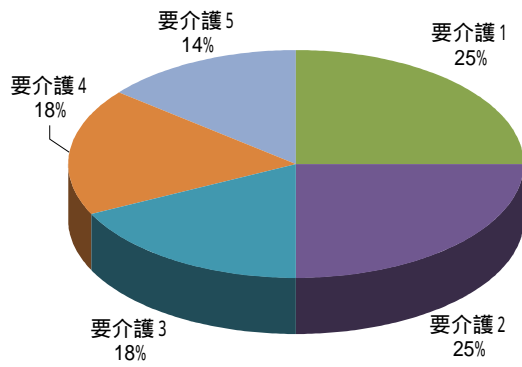
小規模多機能(介護保険)



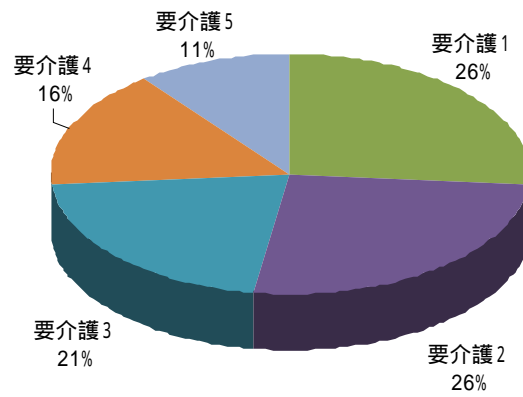
予防通所介護(デイハウス菜の花)



通所介護(デイハウス藤の花・カルチャー)



通所介護(デイハウス藤の花・認知)



第2号議案 2008年度 決算報告及び監査報告

2008年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金	額
収入の部		
1 入会金収入		
正会員入会金	22,000	
さわり会金	21,000	43,000
2 会費収入		
賛助会費	30,000	
さわ会費	103,000	
2009年度賛助会費前受分	10,000	143,000
3 事業収入		226,832,011
4 補助金等収入		
助成金収入		1,583,000
5 預り金収入(前受金)		
高齢者住宅・敷金(4名)	2,000,000	
高齢者住宅・入居金(4名)	39,000,000	
障害者グループホーム・敷金(3名)	414,000	41,414,000
6 保証金収入		
駐車場解約に伴う		15,000
7 寄付金収入		
一般寄付金	308,191	
会員寄付金	30,000	338,191
8 雑収入		
受取利息	115,102	
雑収入	1,834,811	1,949,913
当期収入合計		272,318,115
支出の部		
1 事業費		
給料手当	116,639,320	
交通費	5,724,339	
会議費	4,160	
通信費	347,394	
什器備品費及び消耗品費	1,926,064	
印刷費	117,289	
賃借料	6,715,560	
食材費	10,677,673	
光熱水道費	1,480,126	
雑費	1,609,113	
保険料	183,239	
研修費	66,605	
修繕費	147,206	
寄付金支出	200,000	145,838,088
2 管理費		
給料手当	27,636,645	
賞与	10,197,000	
福利厚生費	1,762,937	
会議費	473,668	
交通費	909,710	
通信費	1,217,294	
什器備品費及び消耗品費	2,654,003	
修繕費	47,893	
印刷費	1,179,056	
光熱水道費	6,872,213	
賃借料	4,423,820	
保険料	787,434	
諸謝金	116,810	
研修費	659,030	
租税公課	7,125,728	
法定福利費	10,831,856	
雑費	6,166,480	83,061,577
3 固定資産取得支出		
什器備品購入支出		824,775
4 預り金支出(前受金)		
高齢者住宅・敷金返金(1名)	500,000	
高齢者住宅・未経過入居金返金(2名)	13,933,339	14,433,339
5 借入金支出		
長期借入金返済(銀行)		11,004,000
6 雑支出		
支払利息		11,624,934
当期支出合計		266,786,713
当期収支差額		5,531,402
前期繰越収支差額		154,805,211
次期繰越収支差額		160,336,613
(正味財産増減の部)		
当期正味財産増減額		8,404,292
前期繰越金		11,698,502
期末正味財産合計		20,102,794

2008年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

2009年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	5,531,402	
固定資産増加額(什器備品)	824,775	
貯蔵品増加額(食材、消耗品他)	730,749	
		7,086,926
2 負債減少額		
長期借入金減少額(銀行)	11,004,000	
高齢者住宅入居金減少額(前受金)	5,733,223	
		16,737,223
増加額合計		23,824,149
減少の部		
1 資産減少額		
固定資産減少額(ソフトウェア)	126,350	
固定資産減価償却額	13,354,507	
敷金減少額(駐車場)	15,000	
		13,495,857
2 負債増加額		
預り敷金増加額(障害者グループホーム)	414,000	
入居金預り金増加額(高齢者住宅)	1,500,000	
2009年度賛助会費前受分	10,000	
		1,924,000
減少額合計		15,419,857
正味財産		
当期正味財産増減額		8,404,292
前期繰越正味財産額		11,698,502
当期正味財産合計		20,102,794

2008年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2009年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
資産の部			負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	1,014,082		未払金	15,048,597	
普通預金	87,929,178		前受金	132,597,486	
未収金	28,876,013		預り金	131,664	
貯蔵品	730,749		仮受金	10,000	
仮払金	500,000		流動負債合計		147,787,747
前払金	54,631				
流動資産合計		119,104,653	2 固定負債		
2 固定資産			長期借入金	473,911,000	
土地	166,519,448		固定負債合計		473,911,000
建物	340,518,066		負債合計		621,698,747
電話加入権	180,600				
車輛運搬具	1,066,705		正味財産の部		
什器備品	14,305,069		前期繰越正味財産	11,698,502	
敷金	30,000		当期増減額	8,404,292	
保証金	77,000		正味財産合計		20,102,794
固定資産合計		522,696,888			
資産合計		641,801,541	負債・正味財産合計		641,801,541

2008年度 財産目録

2009年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現 金 現金手許有高	1,014,082		
普 通 預 金 横浜銀行 藤沢中央支店(普)	87,929,178		
未 収 金 利用料等	28,876,013		
貯 蔵 品 食材、消耗品他	730,749		
仮 払 金 ソフト開発分	500,000		
前 払 金 保険料等前払費用	54,631		
流動資産合計		119,104,653	
2 固 定 資 産			
土 地 一番館・藤が岡	166,519,448		
建 物 一番館・藤が岡	340,518,066		
電 話 加 入 権	180,600		
車 輛 運 搬 具 車輛2台	1,066,705		
什 器 備 品 一番館及びデイ・建物付属設備等	14,305,069		
敷 金 藤が岡駐車場2台	30,000		
保 証 金 デイ藤の花、菜の花 駐車場3台	47,000		
A E D 設置	20,000		
ガス契約 保証金	10,000		
固定資産合計		522,696,888	
資産合計			641,801,541
負債の部			
1 流 動 負 債			
未 払 金 3月分給料手当等	15,048,597		
前 受 金 高齢者住宅入居者の入居金等	132,597,486		
預 り 金 源泉所得税等	131,664		
仮 受 金 2009年度賛助会費前受分	10,000		
流動負債合計		147,787,747	
2 固 定 負 債			
長 期 借 入 金 ふじファンド及び横浜銀行等	473,911,000		
固定負債合計		473,911,000	
負債合計			621,698,747
正味財産			20,102,794

監 査 報 告 書

NPO法人ぐる一ぶ藤
理事長 鷺尾公子殿

下記の通り監査を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

- * 監査実施日 2009年4月30日
- * 立 会 人 理事長 鷺尾公子、事務局長 小野淑子、財務担当 富田信美
- * 監査対象期間 2008年4月1日～2009年3月31日
- * 監 査 方 法 実査及び立会人からの聞き取り

1. 会計監査

諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。会計報告が会員のみならずホームページを通じて外部にも公開されていることはぐる一ぶ藤の理念の表し方として高く評価いたします。

2. 業務監査

理事長 鷺尾公子氏から 2008 年度事業に関する概況説明を受け、当該活動方針に沿って監査を実施しました。

- ・「ぐる一ぶ藤一番館・藤が岡」が開設され今年には2周年を迎えます。地域との交流・連携や協力も得、地域密着型の福祉の役目を確実に果たしていることを認めます。
- ・10月には17年間の市民事業をまとめ理事長が「ぐる一ぶ藤の挑戦 市民出資の福祉マンション」を出版しました。それによる共感是全国的に拡がり、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等のメディアの取材が多数あり、また、地域福祉の全国モデルとして毎日介護賞奨励賞受賞もありました。これまでの実績の賜と高く評価いたします。
- ・地域福祉の拠点としてのぐる一ぶ藤に対するニーズに応え、7つの事業部門はきめ細かく対応され実績をあげています。総合相談センターを設け緊急のサービスを提供し、レストラン「オハナ」は地域の交流の場として定着しています。
- ・地域や市からもその活動の展開を期待されており、二番館・三番館構想の具体的な進展を望みます。全国的に介護事業者の厳しい現状が聞かれるなか、理念に共感し入会希望者が絶えないことは外部からも評価されていると確信いたします。
- ・安心して暮らせる地域社会をつくるため、社会的責任を果たすとともに市民相互の助け合いのまちづくりを着々と実践されている活動に敬意を表し、これからの活動に期待します。

2009年4月30日

監事 土屋 律子 

監事 藤澤 抱一 

第3号議案

2009年度事業計画

・事業方針

(1) 基本方針

年若いても、障害があっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

(2) 運営方針

1. 組織運営

NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。理事会の議決を経て、事業と活動の方針について討議する代表者会議を月1～3回行います。そこでまとめられた提案事項について、毎月開かれる運営会議で検討し、その後、全メンバーを対象に運営報告会を開催し活動を共有します。また、それぞれの部門会議において会員の意見交換を行い、その内容を事業活動に反映させる等、民主的な運営をめざします。

昨年度も「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」の地元を中心に、大勢の仲間を迎えることができました。創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働き方を実践していきます。今年度は、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することとします。

藤が岡の地にしっかり根を張り各事業を安定させると共に、デイハウス藤の花・菜の花の通所介護事業及び昨年「藤」より独立したボランティアすみれと有機的に連携し、豊かな福祉のまちづくりの実現をすすめます。

2. 事業・活動部門

ご利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応し、本来事業、介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護）、障害者自立支援事業（居宅介護・精神障害グループホーム）、高齢者住宅事業を連携させ、より充実した福祉の実現をめざします。

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」においては、地域の安心を支える福祉拠点としての機能を果たすために総合相談窓口を充実させると共に、レストラン「オハ

ナ」では、地域の交流の場・憩いの場として多くの方にご利用いただけるような運営をめざします。

今年度は、一番館運営により見えてきたニーズに対応するため、「二番館」「三番館」の建設準備に入ります。

2 - 1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

心のこもったホームヘルプでご利用者の自立支援を行い在宅生活を支えます。本来事業ではご利用者のさまざまなニーズに対応し、ご自分の意思でその方らしく暮らすお手伝いとして、「藤たすけあいサービス」「ふれあいサービス」「ゆとりサービス」を提供します。介護保険事業、障害者自立支援事業においても、必要とされるサービスに積極的に取り組んでいきます。

2 - 2 通所介護（デイハウス藤の花・デイハウス菜の花）

「デイハウス藤の花」では、カルチャーデイと認知症対応型デイにより、地域の方々のご協力を得ながら、ゲストのさまざまなニーズにお応えしていきます。今年度からゲストの「自立支援」と「日常生活の充実」を目的とした個別機能訓練を実施していきます。

「デイハウス菜の花」では、介護予防のサロンデイとしてゲスト自ら創り・参加し憩いの場となるよう努めます。3種類のデイを行うことで個別のニーズに対応すると共に一人ひとりの個性を大切にした居心地のよいデイサービスをめざします。

2 - 3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

誰もが皆その人らしく自立して生活するためのケアプラン作成に努めます。また、ご利用者の変化に応じて迅速にケアプランを見直す等きめ細かい対応をします。地域包括支援センターと連携し介護予防のマネジメントも行います。

特に藤が岡地区の方々からのご依頼を優先してお受けし、地域の福祉コーディネーターとしての役割も果たしていきます。

2 - 4 小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

通いなれた施設で日中を過ごし夜は宿泊することもでき、同じスタッフの訪問を受けるといった、ご利用者を中心とした「なじみの関係」を大切にしたいケアをさらに充実させるよう努めます。今年度も地域のさまざまな方々の協力をいただきながら、在宅を望まれる方の最後の砦として、住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう支援していきます。

2 - 5 精神障害グループホーム（藤が岡の家）

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、世話人を中心として日常生活をサポートすると共に、他のスタッフの暖かい見守りを通して社会参加を実現するよう支援します。また、専門機関との連絡を密にとり安全に過ごしていただけるようその方に合った自立支援を行います。

2 - 6 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」として、おもてなしの心を大切にし、お住まいの方にその方らしく安心して楽しく暮らしていただけるよう努めます。そのために、看護師による医療サービスを充実させ主治医との連携を図ります。必要に応じて介護保険サービスを組み合わせ、さまざまなニーズに対応します。運営懇談会や毎月のお便りを通してご家族とのつながりを大切にすると共に、地域とも連携しながら季節感のある行事等を行っていきます。

2 - 7 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では、栄養士を配置して一番館・藤が岡にお住まいの方々・しがらきの湯を利用されている方々の体調に配慮し、さまざまな食事形態に対応した食事を提供します。レストラン「オハナ」は開かれた施設のシンボルとして、単なる食事の場としてだけではなく相談窓口、地域の方の交流の場・憩いの場・癒しの場としての役割も担えるよう努めます。また、弁当作り等お客様のさまざまなニーズに対応します。

2 - 8 総合相談窓口

総合相談窓口では、看護師・介護福祉士・社会福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じます。

17年の経験を生かし緊急のSOSに対応すると共に、地域においては権利擁護の観点に立ち、弁護士・民生委員・包括支援センター等に橋渡しをする役割を担います。また税理士による無料の税務相談も継続します。

3 . 管理部門

ぐるーぷ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めます。請求業務の効率化と多様化した業務に対応するために開発した、ぐるーぷ藤専用のサービス管理ソフトの本格稼動を始めます。

事業の拡大によって増加する個人情報の保護にはなお一層配慮し、セキュリティの管理に努めます。

3 - 1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして、皆が生き生きと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくります。安心して心豊かに働くために、多くのメンバーが参加しやすい交流会を開催するなど福利厚生の充実に努めます。

今年度は、メンバーの健康維持と安心して働ける職場を実現するため、決められた時間内に業務を終了することをめざします。

3 - 2 広報活動

広報誌「花どけい」はさらに内容を充実させ、新たなまちづくりの情報発信の場にするると共にご利用者との交流を図ります。カラーパンフレットを有効に活用すると共に、各部門のパンフレットも充実させます。また、全面リニューアルしたホームページは、より見やすくアクセスしやすいサイトをめざして今後も改良していきます。今年度は、広報委員会活動の方向性を探ります。

4 . 評価プロジェクト

第2期3年計画2年目となる今年度は、昨年度ほぼ完成した自己評価シートについて、2008年度実施後の見直しを行いさらに検討し改善をすすめます。また事務職のみに取り入れた業務内容の難易度による時給設定を、他職種にも適用することについて検討します。さらにこれまで取り組んでこなかった常勤職員の評価方法についても調査・研究し、NPOらしい常勤職員のありかたと給与体系を提案します。

5 . 研修プロジェクト

介護力の向上と理念の共有をめざし引き続き研修プロジェクトを設置します。他団体との連携も視野に入れ、各部門でそれぞれの習熟度に応じた研修・メンバー全体に向けての研修・外部に向けての公開講座等を、計画的・有機的に組み合わせ実施します。

リーダー養成研修として、コーチング研修と海外研修を実施します。

6 . その他の活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら、地域に根ざした活動を行います。また、藤沢市の諸団体の委員、神奈川県協議会、全国市民団体協議会等での活動を通じて、介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに、各種講師等の機会を通して、ぐるーぷ藤の活動を広く紹介すると共に啓発活動を行います。今年度も、見学者やメディアの取材には丁寧に対応していきます。

．事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

1 . 通常事業

内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談

日 時：通年

場 所：藤沢市およびその近接地域

従事者人員：70名

対 象 者：100名

(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

1 . 介護講座等

内 容：介護講座

日 時：7月、11月

場 所：ぐるーぷ藤一番館・藤が岡

参加人員：50名

対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方

(3) 介護保険法にもとづく事業

1 . 訪問介護事業

内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供

日 時：通年

場 所：藤沢市域

従事者人員：70名

対 象 者：110名

2. 通所介護事業

内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：30名
対 象 者：100名

3. 居宅介護支援事業

内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：8名
対 象 者：60名

4. 小規模多機能型居宅介護事業

内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を
組みあわせたサービスを提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：40名
対 象 者：25名

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅支援および施設サービス事業

1. 居宅支援サービス事業

内 容：障害者自立支援対象者への訪問介護サービスの提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：30名
対 象 者：40名

2 . 精神障害グループホーム

内 容：障害者自立支援対象の精神障害者へのグループホームの提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：4名
対 象 者：6名

3 . 高齢者住宅

内 容：高齢者に終の棲家としての住宅の提供
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：30名
対 象 者：21名

(5) レストラン事業

1 . レストラン事業

内 容：福祉マンションで働くスタッフおよび近隣の方に開放するレストラン運営
日 時：通年
場 所：藤沢市域
従事者人員：10名
対 象 者：多数

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1 . 総合相談センター

内 容：福祉・医療に関する相談業務
日 時：通年
場 所：藤沢市およびその近接地域
活動人員：10名
対 象 者：多数

第4号議案 2009年度 事業予算
 2009年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書
 2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金	額
収入の部		
1 入会金収入		
正会員入会金	20,000	
さわ入会金	12,000	
賛助会員入会金	30,000	62,000
2 会費収入		
賛助会費	45,000	
さわ会費	100,000	145,000
3 事業収入		
ケア事業収入等	182,484,908	
家賃収入	40,033,200	222,518,108
4 補助金等収入		
民間助成金収入		300,000
5 雑収入		
食事代収入	22,052,340	
雑収入	1,603,180	23,655,520
収入合計		246,680,628
支出の部		
1 事業費		
給料手当	125,371,462	
食材費	12,366,000	
交通費	6,337,200	
消耗品費	1,414,000	
修繕費	650,000	
印刷費	120,000	
什器備品費	528,000	
水道光熱費	1,356,000	
賃借料	6,823,200	
保険料	204,000	
通信費	379,200	
研修費	220,000	
租税公課	872,220	
雑費	2,404,000	
まちづくり対策費	250,000	159,295,282
2 管理費		
給料手当	28,529,950	
福利厚生費	1,871,000	
会議費	722,400	
交通費	970,000	
通信費	1,200,000	
什器備品費	360,000	
消耗品費	1,020,000	
修繕費	300,000	
印刷費	1,300,000	
水道光熱費	7,440,000	
賃借料	3,099,000	
保険料	905,000	
諸謝金	200,000	
研修費	900,000	
租税公課	3,243,700	
法定福利費	11,330,000	
二番館準備費	1,000,000	
雑費	4,781,000	
予備費	11,000,000	80,172,050
3 固定資産所得支出		
開発ソフト残金		1,260,000
4 借入金支出		
長期借入金支出(銀行)		11,004,000
5 雑支出		
支払利息		11,306,631
支出合計		263,037,963
当期収支差額		-16,357,335
前期繰越収支差額		160,336,613
次期繰越収支差額		143,979,278

提 案 者

理事長	鷺尾 公子
理 事	小野 淑子
理 事	垣見 凌子
理 事	黒川 栄
理 事	小林純二郎
理 事	佐藤 律子
理 事	富田 信美
理 事	南 則子
理 事	山口 修三
監 事	土屋 律子
監 事	藤澤 抱一



歳をとっても病気になっても

障がいがあっても

いつまでも自分らしく暮らせる街を創りたい

第5回(通算17回)通常総会議案書

発行日	2009年5月23日
発行者	NPO法人ぐるーぷ藤 理事会
住 所	藤沢市藤が岡1-4-2
電 話	0466-24-3100